



こんにちわ  
横浜市議員

日本共産党  
週刊ニュース  
古谷やすひこ

古谷やすひこ事務所

2013. 12. 11

日本共産党鶴見区委員会内  
横浜市鶴見区潮田町2-120-2  
電話 504-5121 FAX 504-7331  
ブログ:「古谷やすひこ」で検索を

## 新市庁舎建設計画変更 市民意見を聞け

あらき議員が林市長に要求

横浜市は11月、新市庁舎に賃貸床等を整備しないように変更しました。今年の3月に決定された新市庁舎建設基本構想は、新市庁舎につくる賃貸床や現在の行政棟・市会棟跡地の賃貸料を建設資金の返済に充てるというものでした。

あらき由美子議員は議会でこの問題について林文子市長に質問。基本構想決定後わずか8か月後に変更したことで現在の北仲通南地区に建設する計画の優位性が喪失したとして、「基本構想そのものを白紙撤回し、新市庁舎建設計画を最小限の資金計画でできる計画にするよう、最初から考え直すべき」と主張しました。

また、2020年の東京オリンピックに向けて前倒して新市庁舎建設をすると市長が発言したことに対して、あらき議員は「完成時期を早めれば、オリンピック関連施設の建設ラッシュと重なり建設費が高騰するだけでなく、単年度当たりの建設負担も増加する」と指摘。「外国要人の招待と市のプレゼンのためというのでは、市民の理解は得られない」と主張しました。

林市長は、昨年度取りまとめた基本構想は、整備場所と整備パターンを決めるために相対的な比較検討を行ったものであり、今年度は、より具体的に整備方針の検討、規模や事業費を精査したう



一般質問を行うあらき由美子議員  
12月6日、横浜市本会議場

えで、収支シミュレーション等について、必要な見直しを行ったと答弁。東京オリンピックに間に合わせるために事業期間を短縮することで、単年度当たりの負担増加が予測されるが、「MICE都市横浜を世界に発信する絶好の機会」であり、わかりやすさ、働きやすさ、災害時の危機管理機能の強化などの視点からも新市庁舎の早期整備は必要と述べました。

あらき議員は、計画を大幅に変更する以上しっかりとした基本構想にして、市民の意見を聞くべきだと主張。林市長は、「基本計画策定に向けて精査をきっちりした上で、改めて市民のみなさまの意見をきく機会を設ける予定」と答えました。



インターネットTV JCP横浜チャンネル(第5回)  
「国でも横浜でも自共対決」配信中

出演: 岩崎ひろし議員、あらき由美子議員、  
古谷やすひこ議員

今回は、9月議会・決算特別委員会を通して鮮明になってきた自民党にすり寄る林市政の態度を中心に、相変わらずの大型公共事業優先、自民党が教育に介入、中学校給食をやらないのは非常識問題、おくらしている福祉や暮らし面といったテーマで、キャスター役の古谷議員の司会で岩崎、あらき両議員がお話します。